

プレキャスト床版接合技術（Head-barジョイント）

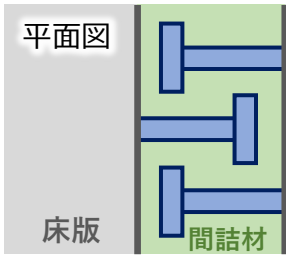
出展者名：大成建設株式会社

道路橋RC床版をプレキャストPC床版に更新する、独自のPCa床版接合技術です

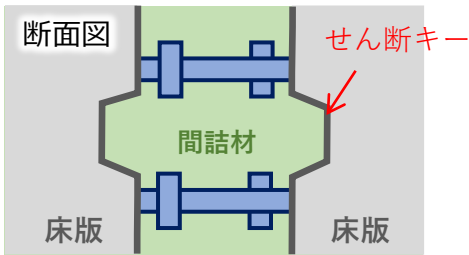
- プレート定着型鉄筋（Head-bar）と、高強度鋼繊維補強モルタルを併用し、間詰幅の短縮と間詰部の橋軸直角方向鉄筋の省略が可能です。
 - 施工性向上による工期短縮とコスト縮減の実現が可能です。
- 簡易な鉄筋継手構造により、PCa床版設置作業の作業性を改善します。
 - 間詰材には高強度繊維補強モルタル（設計基準強度：97N/mm²）を適用し、間詰部のせん断耐力を確保したことで、Head-bar※プレート間の応力が確実に伝達されます
 - 隣接するPCa床版の間隔を110mm程度（従来工法330mm程度）まで短縮することができます。
 - 間詰幅の短縮により橋軸直角方向の追加の配筋が不要となります



接合部配筋状況



接合部配筋状況



Head-bar



間詰材
フレッシュ性状

間詰部接合構造の概要		Head-barジョイント	従来技術（ループ継手）
間詰部の概要	間詰幅	110mm	330mm
	鉄筋（橋軸直角方向）	不要	6本配置
	間詰材（圧縮強度）	高強度繊維補強モルタル（97N/mm ² 〔設計基準〕）	収縮補償用コンクリート（50N/mm ² 〔設計基準〕）
	勾配施工	可	可
施工性	PCa床版の設置	上から直接設置可能	設置後、水平方向の位置調整
	間詰部の配筋	不要	必要